

施策番号	1903		
施策名	子どもを共に育む気運づくり		
概要	子どもの豊かな学びと育ちを各家庭はもとより，市民ぐるみ・地域ぐるみで支えるため，「子どもを共に育む京都市民憲章」が，大人の行動規範として定着することを目指す。		
担当局・部室	教育委員会・生涯学習部	共管局・部室	保健福祉局・児童家庭課
上位政策	19 生涯学習		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市未来こどもプラン		

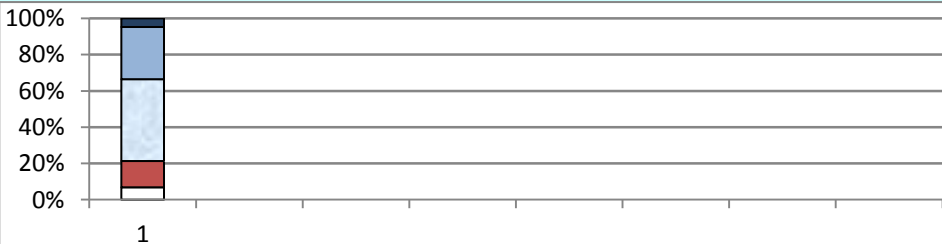
施策の評価

1 客観指標評価

指標名		23年度	24年度	25年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウェイト
1	子どもを共に育む親支援プログラム参加者数(人)	a	a	8,119	10,606	4,800	221.0%	a	1.00
2	子どもを共に育む京都市民憲章実践推進者表彰応募件数(件)	-	-	25	33	28	117.9%	a	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は，毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		25年度回答						有効回答者数	評価
		そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1	子どもを社会の宝として社会全体で育む意識と行動が広がっている。	23	139	218	70	33	483	c	
		4.8%	28.8%	45.1%	14.5%	6.8%			
2	-							-	
3	-							-	
4	-							-	
5	-							-	
		市民生活実感調査総合評価						c	



- そう思う
- どちらかと言ううとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言ううとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている						24 年度	B
	重み付け	☐ 客観指標	a	☒ 市民の実感	c			
(重み付けの理由) 子どもを共に育む社会になっていると市民に実感されることにより初めて施策目的が達成される 施策のため市民の実感に重みを付ける方が適切であるため。								
(原因分析) ・客観指標評価は、22年度から全市で本格実施した、子どもを共に育む親支援プログラムが順調に参加者 を集めており、昨年度と同様にa評価となった。また、今年度から新たに評価を実施した「子どもを共に育む 京都市民憲章実践推進者表彰応募件数」については、実践活動が着実に普及しており、昨年度より応募件 数が増加したため、a評価となった。 ・市民実感評価がc評価となっているが、この要因として、家庭や地域の教育力の低下の下、子育ての不安 や孤立感、児童虐待や児童ポルノ、インターネットの不適切利用等、子どもを取り巻く環境が依然として厳し い状況にあることが挙げられる。							23 年度	B

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞

	事業名	事業費の状況(千円)		25年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		24年度 決算額	25年度 予算額		
1	P T A 研修・啓発	65,531	63,122	良い	教育委員会
2	成人式	34,700	33,893	良い	教育委員会
3	放課後まなび教室推進事業	220,410	233,610	良い	教育委員会
4	人づくり21世紀委員会	24,924	28,093	良い	教育委員会
5	家庭教育・子育て支援の充実	64,028	67,343	良い	教育委員会
6	京都市子育て支援総合センターこどもみらい館	261,954	254,366	良い	教育委員会
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

・市民実感評価において、「どちらとも言えない」が約半数を占めているため、子どもを社会全体で
育むことを目的とした「子どもを共に育む京都市民憲章の実践の推進に関する条例」(23年4月施行)
に基づく取組を一層推進し、市民憲章の周知を更に徹底するとともに、行動指針の策定・実践など、
各分野で実践行動を一層広げ、子育て環境の改善を図る。

施策名	1903	子どもを共に育む気運づくり				
-----	------	---------------	--	--	--	--

指標名	子どもを共に育む親支援プログラム参加者数（人）					
-----	-------------------------	--	--	--	--	--

担当課	生涯学習部家庭地域教育支援担当			連絡先	2 5 1－0 4 5 6	
-----	-----------------	--	--	-----	---------------	--

1 指標の説明

学校・幼稚園・保育所等の場で、地域の支援者の協力も得て、親同士が親としての心構えや必要な知識・技術を学び合い、子育ての不安や孤立感を軽減させる「親支援プログラム（ほっこり子育てひろば）」の参加者数

2 指標の意味

市民ぐるみで子どもたちを育むまちづくりに向けて、地域で子育てを学びあう場への親の参加状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値 23年度	最新数値 24年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	8,119	10,606	2,487人増	4,800	平成32年度の目標達成のために当年度に達成すべき数値	221.0%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		10,000人	32年度	106.1%	170学区×4回×15人	

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：100%以上
b：80%以上～100%未満
c：60%以上～80%未満
d：40%以上～60%未満
e：40%未満

6 基準説明

100%以上をa，以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

23	24	25
a	a	a

指標名	子どもを共に育む京都市民憲章実践推進者表彰応募件数（件）					
-----	------------------------------	--	--	--	--	--

担当課	子育て支援部児童家庭課、生涯学習部家庭地域教育支援担当			連絡先	251-2380, 251-0456	
-----	-----------------------------	--	--	-----	--------------------	--

1 指標の説明

「子どもを共に育む京都市民憲章」の行動の輪を広げるため、同憲章の実践活動としてモデルとなる活動やユニークな活動を表彰する「実践推進者表彰」への応募件数（自薦，他薦を含む。）

2 指標の意味

「子どもを共に育む京都市民憲章」の市民への普及状況及び実践活動の広がりを示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値 23年度	最新数値 24年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	25	33	8件増	28	前年度比10%増	117.9%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						

5 評価基準

最新数値が前年度比
a：10%以上増
b：5～9%増
c：0～4%増
d：5～1%減
e：6%以上減

6 基準説明

目標値（前年度比10%増）以上をa，それ以下を5%刻みで設定した。

7 評価結果

23	24	25
-	-	a